

# 各慶讃法要の日程が決まりました

二〇一六年（平成二十八年）  
一〇月二十九日・三十日 勤修  
親鸞聖人七五〇回大遠忌法要  
寺基四〇〇年  
住職継職奉告法要

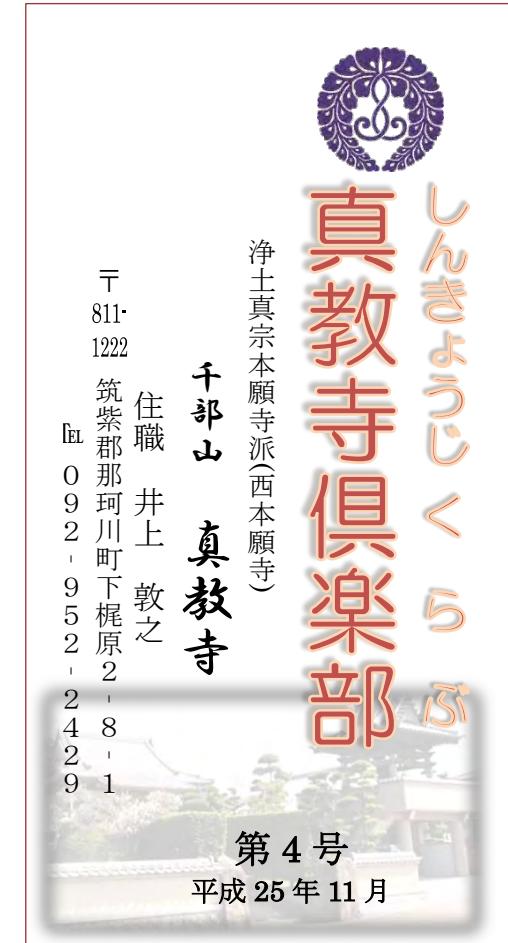
# 真教寺慶讚法要 (親鸞聖人 750回大遠忌・開基四百年・住職聯陞奉生) に迎えるにあたって

じ こ う し ょ う ご  
慈光照護のもと、ご門信徒の皆様におかれましては、益  
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昭和45年5月19日より真教寺第18代住職を継  
させていただき、43年余りが過ぎ現在に至っております。  
い帰れば色々とありますが、一番には本堂の建設でありま  
ご門信徒の方々の思いと尊い淨財により、見事な本堂が落  
されました。また、鐘樓・山門・門信徒会館と境内の整備。  
たくさんの普請をさせていただきました。これも皆様のこ  
力とご支援のお蔭さまと感謝いたしております。

現在の私と坊守は、ともに健康に恵まれ、日々お念佛との日暮しを過ごさせていただいている。3年後にお迎させていただく、『真教寺・親鸞聖人750回大遠忌法要』・『基400年』・『住職継職奉告法要』の諸準備を、皆様のお力添えを賜りながら、真教寺が一体となって進めてまいりたいと思います。

これから先も、真教寺が永代に亘り、  
お念佛の道場となることを念じております。



【真教寺・臨時世話人会】にて決定致しました  
先般、10月18日（金）に真教寺・臨時世話人会が行わ  
れました。議題としまして、真教寺における『親鸞聖人7  
50回大遠忌法要』と『寺基400年』（2015年※）、  
併せて『住職・継職・奉告法要』の日程についてであります。  
住職から各法要に向けての思いが述べられ、世話人出席者  
全員一致で日程が決定しました。

尚、納骨堂基金より予算化され、本堂トイレ（1・2F）  
の修復が決議されました。工期を10月28日～11月17日ま  
での3週間とし、1Fを洋式トイレに2Fは仏華（お花）  
を活けたりする作業スペースとなります。



## 臨時世話人会議の模様

# お寺ステーション

# 親鸞聖人・報恩講（752回正法要）のご案内

期　日　11月26日(火)	夜席(19時30分～21時)
11月27日(水)	昼席(13時30分～15時30分)
	夜席(19時30分～21時)
11月28日(木)	昼席(13時30分～15時30分)

ご講師 高橋 哲了 師（広島市西区 妙蓮寺 本願寺派布教使）

報恩講は宗祖親鸞聖人のご恩をしのび、そのご苦労を通じて、阿弥陀如来のお救いをあらためて心に深く味あわせていただく法要です。

親鸞聖人ご在世当時、お念佛を喜ぶ人びとの間では、師法然聖人のご命日に「二十五日のお念佛」として念佛の集会がつとまっていました。

親鸞聖人ご往生の後、聖人を祖と仰ぐ私たちの先達は、それを親鸞聖人のご命日（1月16日）にあらため、ご法縁にあずかっていたのです。その後、親鸞聖人の三十三回忌にあたり、本願寺第三代覺如上人はそのご遺徳を鑽仰するために『報恩講私記』をつくられ、報恩講がいとなまれました。以来、聖人のご命日の法要は報恩講として大切にお勤めしています。

お念仏のおこころを頑かにしてくださった親鸞聖人のご法事を、ともにお勤めさせていただきましょう。どうぞお参りくださいませ。

世話人紹介…

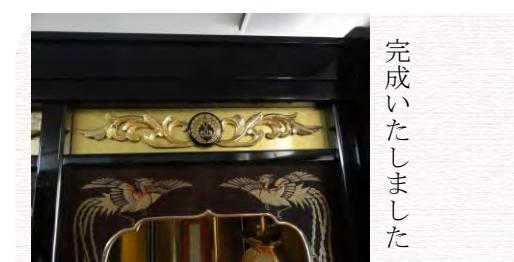
今回は、下梶原地区と仲・東隈地区の世話人さんです



川口(章)さん 川口(柳)さん 築地さん



今回作業をされた藤野和之さんです



完成いたしました



詳細

ておりました。修復内容は一度き  
れいに拭き上げ、新・漆を塗る作業  
でした。また、日差し除けのブライ  
ンドの設置もされました。一ヶ月程  
かかりましたが、とても美しくなり  
ました。

第二納骨堂は、昭和60年5月30  
日に完成し、228基きのご縁をいた  
だく中に、28年の歳月が過ぎまし  
た。これからも、お一人お一人の大  
切な“よりどころ”として、ご恩報謝おんぼうしや  
の思いを大切にしながら、お参りさ  
せていただきましょう。

先般、お預かりした納骨堂基金か  
ら、第二納骨堂・各基上部の漆塗り  
替え修復が行われました。

本堂下の第一納骨堂と比べます  
と、日差の関係で漆の部分が傷ん

# 「まんまん茶曜」

